

教員コラム



特任専任講師 木村 雅代

先日、とても嬉しいことがありました。試験を終えた学生が、目を輝かせ報告に来てくれたのです。

『ことばの魔法』で、腹痛なく試験を受けることができました』

彼女は、緊張からくる痛みに中学時代からずっと悩まされていたというのです。あまりの喜び様に、今までどれほど困っていたかが容易に想像できました。

『ことばの魔法』とは、授業のはじめに「うれしい・たのしい」等、語尾に「い」のつくポジティブな単語を選び、繰り返しみんなで声に出すというものです。実は「い」の音を出す唇のフォームは、笑顔をつくる表情筋の動きです。マスク下の笑顔つくりに加え、ポジティブな言葉のシヤワーを浴びることが狙いです。

『ことばの魔法は、言葉の幸をいづる』

言葉に宿る神霊の力が、幸福をもたらす国。「そのみこと大和の国史(略)―と語の継ぎ言ひ継がひけり」(万・五・八九四) 角川書店発行「国語大辞典」より

言葉には力があります。是非おしゃれを楽しみましょう。言葉にも意識をむけ、自身を輝かせてください。

嬉しい! 楽しい!
美味しい!
面白い! カワイイ!



担当授業紹介・IT技術Ⅱ



助教 近澤 優子

本学では、AI・データサイエンスの基礎的な知識と能力を身につけることを目的とした「IT技術Ⅱ」の授業を開講しています。

これからのデジタル社会において、AIの技術やデータサイエンスを活用して社会の中様々な課題を解決していく能力は、あらゆる分野で必須となるスキルです。「IT技術Ⅱ」の授業では、データやAIが、教育・介護の現場や農業など身近な領域でどのように活用されているのか活用事例を紹介します。また、実データを使ってデータの分析手法や活用方法について学習します。グループディスカッションでは、データやAIが引き起こす課題について考えます。

これから社会に出て活躍する学生の皆さんが、これらの能力を身につけて、より良い未来へ貢献されることを期待しています。

